

● 内部評価（市役所の担当部局による評価）

<評価の目安>

（パターンA）年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	順調	100%以上	指標を上方修正できるものについては、修正の検討を含めた、今後の取組方針や、方向性等を記載します。
②	概ね順調	80%～99%	「概ね順調」という評価を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。
③	やや遅延	60%～79%	「やや遅延」という評価を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。
④	遅延	0%～59%	「遅延」という評価を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。 ※取組は進めているが、達成率が0%の場合は「遅延」とします。
⑤	評価対象外	—	当該年度の年次目標値が設定できないものは「評価対象外」とします。令和4年度の取組状況を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等について記載します。

（パターンB）指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	達成	100%以上	取組を進める上での課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。
⑥	未達成	0%～99%	

● 外部評価（総合企画委員による評価）

各施策の令和4年度実績及び基本施策を推進する実施計画の事務事業をご一読いただき、施策の各指標（数値目標、KPI）について、以下の①～④のいずれかで評価をお願いします。

評価区分	評価の内容
①	計画以上に進捗しており、十分評価できる。今後も継続して施策の推進に努めてほしい。
②	ほぼ計画通りに進捗しており、一定の評価はできる。今後も計画以上の進捗に向け施策の推進に努めてほしい。
③	目標をやや下回る要因の分析を要する。今後の進め方を再度検討する必要がある。
④	目標を大きく下回っており、その要因の分析と施策の見直しが必要である。

● 創生総合戦略の評価シートの記入例

第2期鳥取市創生総合戦略（施策評価シート）

【基本情報】

戦略の柱	Ⅲ	にぎわいにあふれ安心して暮らせる`まちづくり`
基本目標	Ⅲ-1	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり
基本的な方向	しごととはもとより、暮らしを重視した「まち選び」に対応するため、自然や文化、地域のきずなの中での子育てなど、豊かで多様な鳥取市のライフスタイルを広く周知しながら、移住・定住を推進するとともに、将来的な移住が期待される交流人口の拡大や関係人口の創出・拡大に取り組みます。	
基本目標の達成に向けて推進する重点施策	311	ふるさと・いなか回帰の促進
	312	滞在型観光の推進
	313	シティセールスの推進
	314	文化芸術によるまちづくりの推進
	315	自治体間連携の推進

基本目標です。

【基本目標における数値目標】

基本目標の達成度を評価するため設定した指標「移住定住者数」です。	指標名			移住定住者数							
	指標の説明			R3～7年度に本市に移住した人数の累計。							
	関連する重点施策			施策コード		施策名					
				311		ふるさと・いなか回帰の促進					
				312		滞在型観光の推進					
				313		シティセールスの推進					
				314		文化芸術によるまちづくりの推進					
				315		自治体間連携の推進					
	年度			H30	R1 (策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
	目標値(単年)		人	-	-	-	480	480	480	480	480
	目標値(累計)	A	人				480	960	1440	1920	2400
	実績値(単年)		人	-	359	389	462	458			
	実績値(累計)	B	人				462	920			
	達成率	B/A	%	-	-	-	96.3%	95.8%			

内部評価

評価	所管部局（課）	評価コメント（課題・今後の方向性等）
②概ね順調	市民生活部 (地域振興課)	目標値には届かないものの、昨年度並みの324世帯458人の移住定住者があった。世帯主の年齢層は20代～40代が約80%であり、主に若者・子育て世代が占めている。また、各種SNSや令和4年度より運営開始した移住定住専用ポータルサイトでの情報発信による効果もあり、単年度の移住相談登録者数も前年度より119人増加している。 今後も、情報発信や丁寧な相談対応に努めるとともに、ワーケーション事業等の県外企業に働きかける取組、市内高校生や県外に進学した学生に対する取組など、各部局の事業と連携を取りながら、様々なチャンネルを通じて移住定住を促進していきたい。

外部評価（総合企画委員会）

総合評価	評価コメント
------	--------

指標「移住定住者数」に関する評価を、①～④の4段階で「総合評価」欄に記入します。

評価に関する意見等があれば、「評価コメント」欄に記入します。

重点施策「ふるさと・いなか回帰の促進」です。

【施策情報】		
戦略の柱	Ⅲ	にぎわいにあふれ安心して暮らせる「まちづくり」
基本目標	Ⅲ-1	都市部等とのつながりを築き、人が行きか「まちづくり」
重点施策	311	ふるさと・いなか回帰の促進
施策の基本的方向	移住希望者や地元出身者が住みたい、ふるさとへ帰ろうと思えるまちづくりを進めるとともに、情報発信・相談体制・受入体制を充実します。また、交流人口の拡大や、将来的な移住が期待される関係人口の創出・拡大に取り組みます。	

【評価指標】

指標名

移住相談登録者数

指標の説明

本市への移住に向けて相談員によるサポートを希望するために相談登録を行った当該年度の数。

年度

H30

R1
(策定時)

R2

R3

R4

R5

R6

R7
(目標)

目標値

A

人

-

-

-

200

250

320

400

500

実績値

B

人

-

449

223

168

287

達成率

B/A

%

-

-

-

84.0%

114.8%

所管部局（課）

市民生活部（地域振興課）

内部評価

評価

評価コメント（課題・今後の方向性等）

①順調

単年度の移住相談登録者数は前年度より119人増加し、目標を上回った。これは、各種SNSや令和4年度より運営開始した移住定住専用ポータルサイトでの情報発信が寄与したものとする。

来年度以降の高い目標値の達成に向けては、関係機関や他部局の取組に係る情報収集に努めるとともに、体験事業など本市の魅力を直接伝える取組の実施も検討していく。

外部評価（総合企画委員会委員）

総合評価

評価コメント

重要業績評価指標（KPI）

1

重点施策の達成度を評価するため設定した指標「移住相談登録者数」です。

重点施策の達成度を評価するため設定した指標「移住相談登録者数」です。

指標「移住相談登録者数」に関する評価を、①～④の4段階で「総合評価」欄に記入します。

評価に関する意見等があれば、「評価コメント」欄に記入します。

重点施策を推進する事務事業の実績一覧です。前年度に実施した「事業の概要」や「成果」、市の所管課が考える「今後の課題・方向性」を記載していますので、重点施策の評価の参考にします。

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名
1	○	文化芸術推進事業補助金	文化芸術団体が実施する文化芸術事業に必要な経費を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進、地域に根差した文化芸術の振興を図る。	市民による文化芸術に関する事業への支援 ・イベント開催など 9団体 ・次世代育成 3件 ・伝統郷土芸能用具整備など 2件	文化芸術のまちづくりを進めるには、地域の文化芸術活動の活性化が必要であることを踏まえ、今後も市民による文化芸術活動に対する支援、普及啓発、次世代育成などに取り組む。	企画推進部	文化交流課
2	○	人材誘致・定住促進対策事業費	移住定住専任相談員等の配置や移住・交流情報ガーデンの設置により、本市への移住を検討している者に寄り添った相談対応・サポート・情報発信を行う。 また、麒麟のまち1市6町で連携して取り組みを実施し圏域としての移住促進を図る。 さらに、お試し定住体験施設の管理運営や空き家の利活用を促進することで、移住定住の推進や自立した地域コミュニティの維持につなげる。	・移住相談窓口（本庁舎・関西圏）及び鳥取市移住・交流情報ガーデンの設置 ・東京及び大阪での全国規模移住相談会（オンライン開催含む）への出展 東京1回・大阪2回 ・麒麟のまちワーホリの実施 ・移住定住専用ポータルサイトの運営及び戦略的な情報発信の実施 ・お試し定住体験施設の管理運営 合計5施設（市街地、河原、用瀬、佐治、気高） ・移住定住空き家バンクの管理運営 7地域団体等 ・移住者住宅利活用推進補助金の交付 移住実行目標数：3世帯5名	前年度との比較で、移住者数は同等、移住相談登録者数は119人増となったが、ポータルサイトの運用開始が登録数増に寄与したと捉えている。 今後もポータルサイト等での情報発信により、登録者数の増加を図るとともに、移住定住専任相談員による丁寧な相談対応により移住者数増へ繋げていく。また、移住希望者等のニーズ把握に努め、移住支援施策の充実を図る。	市民生活部	地域振興課
3	○	地域の魅力創出事業費	中山間地域の美しい原風景や地元のグルメを楽しみながら県東部一円をめぐる自転車周遊イベント等への支援を通じて地域の魅力発信に取り組む。	鳥取砂丘や浦富海岸などのジオスポットや吉岡温泉を巡る自転車周遊イベントへの支援 ・大規模周遊自転車イベント運営補助金【実績】鳥取すてい！ライド2022 1件 1,000千円 参加者 497名 (鳥取県内 173名、県外 324名 ※招待者・ゲスト 26名を除く。)	令和5年度も引き続き鳥取すてい！ライドを開催するとともに、県内外のサイクリストに対し、鳥取市及び県東部圏域の魅力発信を図っていく。	市民生活部	地域振興課

デジタル田園都市国家構想交付金事業の評価の実施について

● 交付金について

国のデジタル田園都市国家構想交付金は、デジタル田園都市国家構想の実現による社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、各地方公共団体の意欲的な取組を支援するものです。

本市においては以下の2タイプを活用し、地方創生の充実・強化を図る事業等を展開するとともに、市の財政負担の軽減を図っています。

【地方創生推進タイプ】

観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援

【デジタル実装タイプ】

デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援

この交付金を活用し実施した前年度事業について、以下のとおり評価を行います。

● 内部評価（市役所の担当部局による評価）

国が定める以下の区分に基づき、内部評価を行っています。

評価区分		例
①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があつた	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があつた	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

● 外部評価（総合企画委員による評価）

- 内部評価の結果等を踏まえ、次頁以降の「評価シート」の赤枠部分に評価を記入します。
- 「評価」欄には、以下の評価区分に基づき①～④を記入します。
- 評価に関するご意見等があれば、「ご意見等」欄に記入します。

評価区分	評価の内容
①	KPI達成に有効であった
②	KPI達成にある程度有効であった
③	KPI達成にあまり有効とは言えない
④	KPI達成に有効とは言えない

● デジタル田園都市国家構想交付金の評価シートの記入例

事業名		麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業			
①基本事項					
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	交付金事業の名称です。
②事業概要					
麒麟のまち圏域の地方創生に向けて、地域の課題解決に取り組む人材育成に取り組むとともに、地域資源の魅力向上やエリアプロモーションを行い、まちの魅力アップを図り、地域への愛着度を高め、住む人・来る人に選ばれるまちづくりに取り組む。また、麒麟のまち全体で、観光消費額向上に戦略的に取り組み、圏域経済の活性化を図って稼ぐ地域を創出する。加えて、圏域人口の維持・増加を図るため、持続的な人材確保に向けて、圏域一体となった移住促進と若者定住を進める。					
③令和4年度実施事業		前年度の事業実績です。			
事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名	
1	まちづくり人材の育成とまちの魅力アップ事業	(1)とっとりふるさとリーダーアカデミー事業 平成23年度より実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさと元気塾」を受講したリーダーを中心に、より専門的・実践的な講座でさらに学んでいただき、具体的な活動を立ち上げるような人材の養成を図るとともに、取組を地域全体に波及させ、地域活性化を目指す。	●とっとりふるさとリーダーアカデミー開催 ゼミ開催及び個別相談を実施し、参加者延べ793名の中から27名の地域リーダーが誕生した。 ゼミを計15回開催した。内訳は以下のとおり。 ・全体研修会 1回 ・テーマ別専門ゼミの開催 4回 ・エリア別地域ゼミの開催 8回 ・麒麟のまち交流ゼミ 2回	市民生活部 地域振興課 過疎地域振興事業費	
		(2)麒麟のまち圏域エリアプロモーション推進事業 麒麟のまち圏域各地域の季節毎の魅力を発信する広報紙を、夏、秋、冬の計3回制作・配布し、各地域に対する住民の相互理解と地域愛着度の向上を図るとともに、圏域住民だけでなく観光客も含めた圏域内周遊を促進する。	●合計発行部数45,000部（15,000部×3回）	企画推進部 政策企画課 麒麟のまち創生推進事業費	
		(3)地域の魅力創出事業 鳥取市・岩美町・八頭町が連携し「鳥取すごい！ライド」を開催する。参加者が自転車で巡りながら、豊かな自然や美味しいグルメを楽しむイベントを開催することで周遊観光の取組を推進する。併せて本市の「自転車が走りやすい、走ってみたいまち」というイメージを全国に発信する。	●「鳥取すごい！ライド2022」開催 ・実施日：令和4年10月16日 ・新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し開催。全国各地（北は北海道、南は高知まで）から527名（招待者、ゲスト含む）の参加があった。	市民生活部 地域振興課 地域の魅力創出事業	

事業 番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
2	広域観光推進事業	(1)麒麟のまち観光局運営支援 地域連携DMO（麒麟のまち観光局）の運営を支援し、鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町への誘客や周遊促進に取り組み、観光消費の拡大を目指す。	●令和4年7月22日～10月28日までInstagramを活用した投稿キャンペーンを実施し、圏域内周遊を促進（投稿総数439件） ●圏域内の飲食店を対象にGoogleビジネスプロフィールへの登録を専門人材を登用し支援し情報発信強化するとともに、圏域観光サイトにおいて「食」のコンテンツ充実を図った。（Google登録店舗数156店舗） ●圏域を訪れる観光客を対象に独自のWEBアンケート調査を実施し消費額や周遊環境の満足度を把握しマーケティング分析に活用した。（回答総数2,714件）	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
				広域観光開拓・推進事業費

事業 番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等
				実施事業を含む予算中事業名
3	圏域人口対策事業	(1)移住定住相談会への出展、麒麟のまち移住セミナー事業、麒麟のまち移住促進イベント企画運営事業 鳥取県東部圏域1市4町及び兵庫県北西部2町で移住相談会に合同出展し、圏域の魅力を発信するとともに、移住相談を実施する。また、関西圏で圏域への移住セミナーや圏域を巡る移住体験ツアー（麒麟まわーホリ）の実施により、圏域への移住定住の促進を図る。	●ふるさと回帰フェアへの合同出展 ・おいでや！いなか暮らしフェア2022（大阪府）への出展。圏域で延べ32組48名来場 ・ふるさと回帰フェア（東京都）への出展。圏域で延べ38組52名来場 ●鳥取市への移住促進パンフレットやお試し定住体験住宅のリーフレット作成 ・移住定住相談会やその後の相談対応の際に活用するリーフレットを作成。 ●移住セミナー・移住体験ツアーの実施 ・【移住セミナー】麒麟のまちと出会おうDAY!!@大阪 44名参加 ・【移住体験ツアー】麒麟のまちと出会おうDAY!!@麒麟のまち 7名参加	市民生活部 地域振興課
		(2)若者定住に向けた婚活支援事業 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営により、婚活イベントの開催やフォローアップをすることで出会いから成婚までのサポートを行い、若者世代の定住を図る。	・イベント実施件数51件 ・イベント参加者数1,009人 ・カップル成立数75組 ・会員同士の成婚報告数6組 ・会員以外との成婚報告者数16人	企画推進部 政策企画課
		(3)鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業 本市に所在する大学または専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業への就職促進活動や魅力発見活動を支援し、若者定住につなげる。	●学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 1件 ●学生の麒麟のまち圏域内への就職を促進する事業及び学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 2件	企画推進部 政策企画課
				人材誘致・定住促進対策事業費
				若者定住促進事業費
				鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費

④事業費について									
総事業費				53,719,604		円			
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）			26,496,664		円			
	その他の特定財源			0		円			
	一般財源			27,222,940		円			
⑤重要業績評価指標（KPI）									
指標1	指標名	アカデミー参加者による地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数（人／年度）							
	関連する事業番号		1		交付金事業の達成度を評価するため 設定した重要業績評価指標です。				
		基準値 R3年度	R4年度						
	目標値	－	5		5	5			
	実績値	292	27						
	達成率		540.0%						
指標2	指標名	圏域の観光消費額（円／年度）							
	関連する事業番号		1・2		担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課		
		基準値 R3年度	R4年度		R5年度	R6年度			
	目標値	－	29,670		34,121	39,239			
	実績値	25,800	26,570						
	達成率		89.6%						
指標3	指標名	鳥取市の延べ宿泊者数（人／年度）							
	関連する事業番号		1・2		担当部（局）・課等		経済観光部 観光・ジオパーク推進課		
		基準値 R3年度	R4年度		R5年度	R6年度			
	目標値	－	294,964		295,964	296,964			
	実績値	293,964	288,010						
	達成率		97.6%						
指標4	指標名	麒麟のまち圏域への移住者数（人／年度）							
	関連する事業番号		3		担当部（局）・課等		市民生活部 地域振興課		
		基準値 R3年度	R4年度		R5年度	R6年度			
	目標値	－	713		737	771			
	実績値	699	723						
	達成率		101.4%						

内部評価	
②	内部評価基準 ①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 ④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 ⑤評価対象外 事業を実施しなかった場合
⑥今後の方針について	
事業番号 1	令和2年度より実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を受講したリーダーを中心に、より専門的・実践的な講座でさらに学んでいただき、具体的な活動を立ち上げるような人材の養成を図るとともに、取組を地域全体に波及させ、地域活性化を目指す。 麒麟のまち圏域エリアプロモーション推進事業として令和5年度は、圏域内のSDGsに着目したイラストや写真、川柳の作品を募集するキャンペーンを実施し、SDGsの普及啓発を行うとともに圏域内周遊を促進することで、圏域への興味・関心を高めていく。 また、「鳥取すごい！ライド2023」（令和5年10月開催予定）は、感染症法上の位置づけが2類から5類に移行したことにより、感染症対策を緩和したうえで、全国からより多くの方に参加していただくなど、圏域全体の魅力アップに取り組む。
事業番号 2	地域連携DMO「麒麟のまち観光局」では、圏域の中心市である鳥取市の既存観光サイトへ圏域内6町の情報を掲載するリニューアルを令和4年度中に実施。併せて、民間飲食店舗などを中心とするGoogleビジネスプロフィールへの登録支援に注力した。これら情報発信力の強化に加えて、今後予定している、宿泊分析システムの導入による観光マーケティング分析の深化や、観光CRMアプリの開発・運用による効果的な販売促進プロモーション等の展開により、圏域へのさらなる誘客促進及び観光消費額の拡大をめざし、アフターコロナにおける早期回復を図る。
事業番号 3	移住定住相談会については、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の合間を縫って対面イベントの実施や参加を行ったが、コロナ前ほどの来場者数に戻っていない状況であった。今後は、5類への移行により人の動きが活発になり、移住相談会への来場者の増加が見込めることから、引き続き、全国規模の相談会に圏域で連携して出展することで、移住希望者のニーズ把握や移住者数の増加につなげていきたい。 婚活支援事業については、令和5年度は全国的に活躍している婚活アドバイザーの方に事業のアドバイザーに就任いただき、婚活事業のブラッシュアップを図るとともに、趣味趣向を同じくする会員が定期的に活動する機会を提供する「サークル活動」を開始し、解消しにくいカップルの成立を目指す。 また、就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。

第2期鳥取市創生総合戦略及びデジタル田園都市国家構想交付金評価担当

12

(評価担当区分順及び五十音順、敬称略)

No.	分野	委員	所属団体等	評価担当
1	子育て	大橋 祥子	ゆうゆうとっとり子育てネットワーク	ひとづくり
2	医療	下田 敏美	鳥取県東部医師会 事務局長	ひとづくり
3	国際交流	田中 丈士	タイム(とっとり国際交流連絡会)副会長	ひとづくり
4	福祉	林 由紀子	鳥取市社会福祉協議会 会長	ひとづくり
5	労働団体	山下 浩二	連合鳥取東部地域協議会 事務局長	ひとづくり
6	女性団体	山根 滋子	鳥取市連合婦人会 常任委員	ひとづくり
7	教育	米田 恵子	元小学校長	ひとづくり
8	青年団体	岡 大輔	鳥取県東部中小企業青年中央会 会長	しごとづくり
9	報道	神田 浩史	新日本海新聞社 地域プロデュース局PR推進部 部長	しごとづくり
10	金融	竹本 哲哉	鳥取銀行 執行役員ふるさと振興本部長	しごとづくり
11	農業	田中 利明	鳥取いなば農業協同組合 参事	しごとづくり
12	商工	平井 耕司	鳥取商工会議所 副会頭	しごとづくり
13	学術	吉田 高文	公立鳥取環境大学 経営学部長	しごとづくり
14	住民団体	石本 昭雄	鳥取市自治連合会 監事	まちづくり
15	新市域	奥谷 仁美	河原地域	まちづくり
16	定住	尾坂 亮	U・J・I ターン移住者	まちづくり
17	観光	岸本 夕子	鳥取市観光コンベンション協会 理事	まちづくり
18	新市域	久野 壯	気高地域	まちづくり
19	文化	佐藤 翔風	鳥取市文化団体協議会 理事	まちづくり
20	新市域	前岡 美華子	国府地域	まちづくり